

第25回文化財の保存及び修復に関する国際研究集会「日本の楽器—新しい楽器学へ向けて—」 (The 25th International Symposium on the Conservation and Restoration of Cultural Property-Japanese Musical Instruments: Toward a New Organology-)

日本では、楽器を総合的にとらえる研究が少なく、音楽学の立場では音を奏でる道具として、美術工芸の研究ではもっぱら加飾に目を向けてきた。このような状況に対し、従来の音楽学、美術工芸の研究に加え、絵画資料を用いた図像学的研究、古楽器の修復や博物館での展示などさまざまな視点から楽器をとらえ直し、海外の研究者をまじえて「文化遺産」としての楽器の意義を問い直そうと試みた。

また、東京国立博物館の協力のもと、同館の所蔵楽器120点あまりの展観が実現した。楽器は保存・修復等の取り扱いがむずかしく、製作年代などの位置づけも不確定なため従来ほとんど展示される機会がなかったが、明治年間に製作された正倉院模造楽器をはじめ、蜂須賀家伝来の堆黒の琵琶、信貴山行円作の笙、筑後善道寺僧法水に由来するといわれる車箏など貴重な楽器の展示も行われた。

日程：2001（平成13）年11月13～15日

会場：東京文化財研究所

11月13日

	発表者	演題
1	笠原潔（放送大学）	〔基調講演〕 新たな楽器学へ向けて—音楽考古学からの提言— (Toward a New Organology: A Voice from Musical Archaeology)
2	Kenneth Moore（メトロポリタン美術館）	〔基調講演〕 楽器学と博物館の環境—メトロポリタン美術館における日本楽器コレクションをめぐって— (Organology and the Museum Environment: Interpreting Japanese Musical Instruments in the Collections of the Metropolitan Museum of Art)

11月14日

第1セッション：楽器学の現在 (Organology Today)

	発表者	演題
1	野川美穂子（東京文化財研究所）	和琴の形態とその変遷 (The Shape of Wagon and Its Changes)
2	高桑いづみ（東京文化財研究所）	益田鈍翁旧蔵鼓胴について—東大寺旧蔵四ノ鼓の可能性— (The Body of the Tsuzumi Once Owned by Masuda Donno: Possibility of Its Being the <i>Shi-no-tsuzumi</i> , Formerly of Todaiji)
3	薦田治子（お茶の水女子大学）	琵琶—楽器の種類と変遷— ( <i>Biwa</i> : Its Types and Changes)
4	志村哲（大阪芸術大学）	古管尺八とその奏法の特徴について (Old-Style <i>Syakuhati</i> and the Characteristics of its Performance)

第2セッション：図像学から見た楽器 (Iconographical Study of Musical Instruments)

1	勝木言一郎 (東京文化財研究所)	敦煌壁画に見る「舞」と「楽」のイメージ—美術史研究者の立場からの音楽図像学— (Images of "Dance" and "Music" in the Mural Paintings of Dunhuang: An Art Historian's View of Musical Iconology)
2	Steven G. Nelson (京都市立芸術大学)	描かれた楽—日本伝統音楽の歴史的研究における音楽図像学の可能性と限界について— (Depictions of <i>Gaku</i> : Remarks on the Value of Music Iconography in Historical Research on the Traditional Music of Japan)
3	David Waterhouse (トロント大学)	日本宮廷舞踊の描写—『信西古楽図』とその後の絵画資料— (Portrayals of Japanese Court Dance: The <i>Shinzei Kogaku Zu</i> and its Descendants)
4	Onno Mensink (ハーグ博物館)	浮世絵に見る楽器 (Musical Instruments in <i>Ukiyo-e</i> )

11月15日

第3セッション：工芸品としての楽器 (Musical Instruments as Art Objects)

	発表者	演題
1	加藤寛 (東京文化財研究所)	鼓の装飾 (Makie Decorations on Tsuzumi(イタ))
2	木村法光 (京都市立芸術大学)	正倉院楽器の保存と修復について (Preservation and Restoration of Musical Instruments of Shoso-in)
3	北村昭斎 (漆芸家)	春日大社国宝蒔絵箏と三つの黒漆鼓胴について ( <i>Makie So</i> of Kasuga Taisha, a National Treasure, and Three Black-Lacquered <i>Tsuzumi</i> Bodies)

第4セッション：楽器の修復と展示 (Restoration and Exhibition of Musical Instruments)

1	Eszter Fontana (ライプツィヒ楽器博物館)	グラス博物館における日本の楽器 (Japanese Musical Instruments in the Grassi Museum Aspects of an Exhibition)
2	齋藤望 (彦根城博物館)	彦根藩主井伊家伝来の雅楽器 ( <i>Gagaku</i> Instruments of Ii Family, Lord of Hikone)